

# 第3部

## 参 考 资 料

---

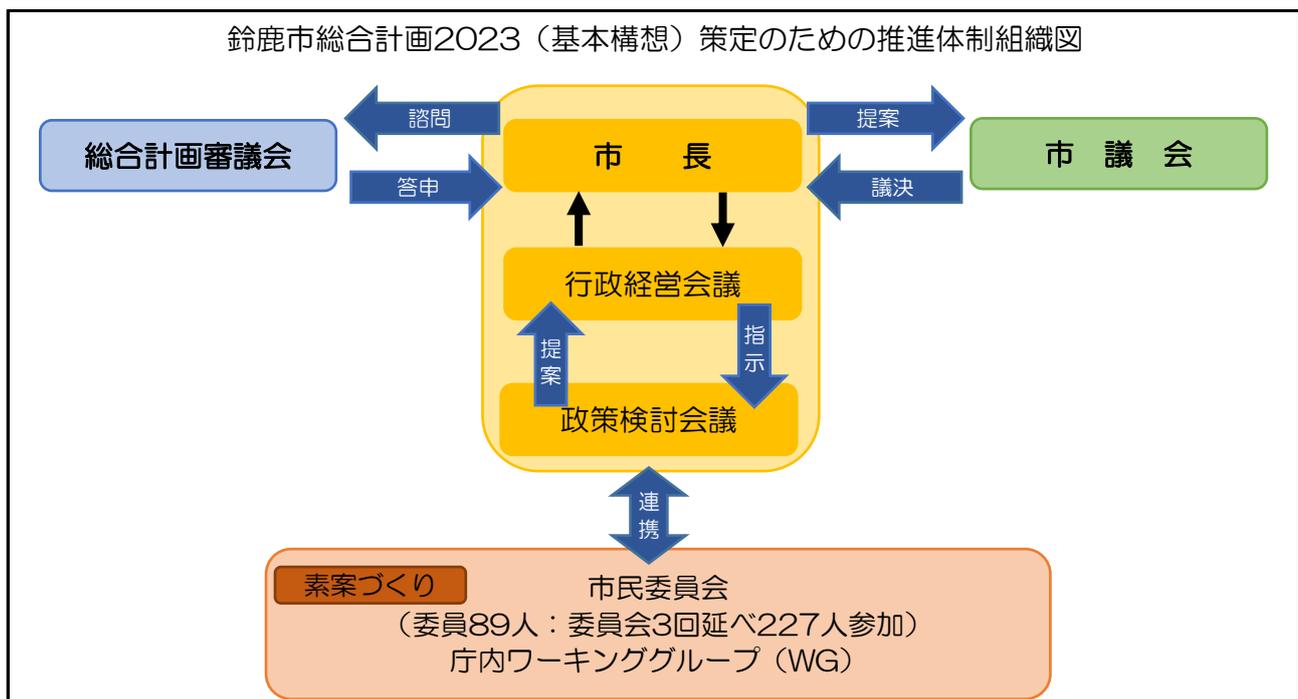
参考資料1

● 鈴鹿市総合計画2023策定の経過

年月日	総合計画審議会	市議会	市民委員会	その他
2014.6 ～2014.7				市政アンケート調査実施
2014.7.30				庁内ワーキンググループ（基本構想案等検討WG及びマネジメント検討WG）設置
2014.8 ～2014.10				鈴鹿市の経営環境診断作成
2014.9.20			第1回市民委員会	
2014.10.18			第2回市民委員会	
2014.11.24			第3回市民委員会	
2014.12.22		12月市議会定例会 鈴鹿市まちづくり基本 条例の一部改正を議決		
2014.12 ～2015.1	市民公募委員の募集・ 決定			
2015.2.4	第1回総合計画審議会 「総合計画」策定につ いての諮問			
2015.3.27	第2回総合計画審議会			
2015.4 ～2015.5				基本構想の成果指標作 成アンケート調査実施
2015.5.29	第3回総合計画審議会			
2015.6.29		6月市議会全員協議会 「基本構想素案」の協 議		
2015.7.6 ～2015.8.6				「基本構想素案」に関 する意見公募（パブ リックコメント）
2015.7.9				「基本構想素案」に関 するまちづくり意見交 換会（学生対象）
2015.7.12				「基本構想素案」に関 するまちづくり意見交 換会（市民対象）
2015.7.13				「基本構想素案」に関 するまちづくり意見交 換会（市民対象）
2015.7.15				「基本構想素案」に関 するまちづくり意見交 換会（学生対象）
2015.7 ～2015.9				小学生・中学生への作 文・絵画募集
2015.8.19	第4回総合計画審議会			
2015.9.24	第5回総合計画審議会 「基本構想」につい ての答申			

年月日	総合計画審議会	市議会	市民委員会	その他
2015.10.15		10月市議会全員協議会 「基本構想案」「前期 基本計画素案」の協議		
2015.10.16 ～ 2015.11.16				「前期基本計画素案」 に関する意見公募（パ ブリックコメント）
2015.10.20				「前期基本計画素案」 に関するまちづくり意 見交換会（学生対象）
2015.10.28				「前期基本計画素案」 に関するまちづくり意 見交換会（学生対象）
				「前期基本計画素案」 に関するまちづくり意 見交換会（市民対象）
2015.11.7				「前期基本計画素案」 に関するまちづくり意 見交換会（市民対象）
				「前期基本計画素案」 に関するまちづくり意 見交換会（外国人市民 対象）
2015.11.24		12月市議会定例会 「基本構想」を議案と して提案		
2015.12.18	第6回総合計画審議会			
2015.12.22		12月市議会定例会 「基本構想」を議決		
2016.1.7	第7回総合計画審議会 「前期基本計画」につ いての答申			
2016.1.15		1月市議会全員協議会 「前期基本計画案」を 協議		
2016.1.30				計画周知イベント「～ 鈴鹿の未来をみて きい て 語ろう！～」開催
2016.3	鈴鹿市総合計画2023（基本構想・前期基本計画・実行計画）を公表			

鈴鹿市総合計画2023（基本構想）策定のための推進体制組織図



参考資料2

●鈴鹿市総合計画審議会への諮問

鈴企第1376号

平成27年2月4日

鈴鹿市総合計画審議会

会長 豊田長康様

鈴鹿市長 末松則子

諮 問 書

鈴鹿市総合計画の策定にあたり、鈴鹿市総合計画審議会条例（昭和52年3月31日条例第2号）第2条の規定により、貴会の意見を求めます。

鈴鹿市長 末松 則子 様

鈴鹿市総合計画審議会  
会長 豊田 長康

鈴鹿市総合計画について（答申）

平成27年2月4日付け鈴企第1376号にて諮問された鈴鹿市総合計画について、基本構想を本審議会で慎重に審議した結果、下記のとおり取りまとめましたので答申します。

記

- (1) わが国の憲法に基づき、平和社会の実現と継続を意識した計画を推進されたい。
- (2) 年齢、性別、国籍や障がいの有無等にかかわらず、多様な価値観が尊重される共生社会の実現に向けたまちづくりを進められたい。
- (3) 市民と行政との協働の理念の下、市民が主体となる地域づくり組織の設置、地域別経営計画の策定及び運用に当たっては、継続的で効果的な仕組みづくりに、十分配慮されたい。
- (4) 積極的な情報公開と市民の声を幅広く集める広聴活動を基本として、協働によるまちづくりを進められたい。
- (5) 協働のまちづくりを推進するためのコーディネート能力と感性を備えた職員の登用及び育成に努められたい。また、地域づくりの核となる地域の人材の発掘及び育成に努められたい。
- (6) 総合計画の推進に当たっては、施策等の実施結果に基づく適切な評価及び改善を連動させる仕組みの充実に努めるとともに、財政規律の確保と職員の適正配置により効率的で効果的な行政運営を推進されたい。
- (7) 男女共同参画社会の実現を図る視点を持って各施策の推進に当たられたい。そのためには、仕事、家庭、地域など、あらゆる場において、女性が持てる能力を発揮できる環境の構築に尽力されたい。
- (8) 今後、本格的に進展する人口減少社会においても、市民が愛着を持ち、住み続けたいと感じる自立した活力あるまちづくりを進めるため、地域の特性を活かす施策の推進に取り組まれたい。
- (9) 未来を築き、次世代のまちづくりの担い手となる子どもたちが、一人ひとりの命を大切にし、いきいきと成長できる教育と青少年の健全育成に一層取り組まれたい。
- (10) 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかない、安心して安全に子どもを生み育てられるまちづくりをさらに進められたい。
- (11) 高齢者の豊富な知識と経験をまちづくりに反映し、意欲ある市民が参加できる施策の推進に努められたい。
- (12) 基本構想案の文言・字句等の表現及び目標設定については、審議会等における意見を参考にされたい。

鈴鹿市長 末松 則子 様

鈴鹿市総合計画審議会  
会長 豊田 長 康

鈴鹿市総合計画について（答申）

平成27年2月4日付け鈴企第1376号にて諮問された鈴鹿市総合計画（前期基本計画）について、本審議会で慎重に審議を重ねたところ、諮問された原案は概ね妥当なものとの結論に達しましたので、下記の意見を付して答申します。

記

1 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「大切な命と暮らしを守るまち すずか」について

- (1) 武力行為、テロ、世界経済の混乱など、市民生活に大きな影響が懸念される新たな危機を想定し、危機管理部署を中心に組織全体で予防や対応ができる体制の強化に努められたい。
- (2) 多様な市民に対する情報伝達手段の多様化、多重化を推進し、市民と行政が連携して危機に対応できる施策を推進されたい。
- (3) 甚大な被害の発生が予測されている南海トラフ地震や気候変動に伴う災害などに対して、市民の生命と財産を守るための効果的な施策を推進されたい。
- (4) 高齢化の進展やコミュニティにおける連帯の希薄化によって生じる地域防災力の低下を防ぐため、市民への啓発活動などを通じて、自主防災隊や消防団の活性化と市民の参加意欲の向上を図る施策を推進されたい。
- (5) 交通安全や防犯に関する取組を関係機関や団体などと連携しながら推進し、地域の更なる安全・安心の確保に努められたい。

2 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「子どもの未来を創り 豊かな文化を育むまち すずか」について

- (1) 人口減少を抑制するためにも、結婚、妊娠、出産の希望がかなう施策の推進に取り組むとともに、保育、幼児教育などの子育てに関する多様なニーズや、子どもの貧困、虐待などの課題に対応し、明るい子どもの未来を創り出す総合的で効果的な施策を推進されたい。
- (2) 家庭、地域、学校の連携により、本市の特色を生かした教育内容や教職員の自主性・独自性に基づく指導方法を構築するなど、学力の向上と児童生徒が抱える課題を解決し、社会を生き抜く子どもの育成に努められたい。

- (3) 教育内容の多様化や情報化などに対応した施設・設備の整備など、児童生徒の教育環境の向上に資する施策を推進されたい。
- (4) 市民が心身ともに健康で生きがいを持って暮らし、地域の活力につなげるために、芸術・文化活動や生涯学習、スポーツへの市民ニーズの変化を捉えた魅力ある施策を推進されたい。

### 3 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「みんなが輝き 健康で笑顔があふれるまち すずか」について

- (1) 多様な主体と連携し、高齢者福祉、障がい者福祉、医療、健康づくり、地域福祉など、保健、医療、福祉分野の施策を横断的に推進し、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できるよう、地域で支えあう総合的な支援の仕組みを構築されたい。
- (2) 誰もがいつまでも健康に暮らせるよう、健康増進のための取組を推進されたい。また、施策の推進に当たっては、スポーツ、文化、社会教育など他の施策との連携を積極的に図り、横断的な取組に努められたい。

### 4 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「自然と共生し 快適な生活環境をつくるまち すずか」について

- (1) 少子高齢社会が進展する中、誰もが安心して移動できるよう、道路ネットワークの形成や、公共交通機関と連携した地域公共交通網の効率的な維持を図り、総合的な交通ネットワークの構築に努められたい。
- (2) 市民生活の利便性、快適性を持続的に確保するため、公共施設、設備、インフラなどのこれまで蓄積された資産を有効に活用するとともに、効率的な維持、整備を推進されたい。
- (3) 地球温暖化防止をはじめ、国などが進める環境政策に関する動向を見据えながら、低炭素・循環型社会推進や新エネルギー導入促進などの施策に引き続き取り組まれたい。

### 5 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「活力ある産業が育ち にぎわいと交流が生まれるまち すずか」について

- (1) 基幹産業である自動車産業や今後の成長産業をはじめ、あらゆる産業の振興や企業誘致などに努め、仕事の創出を図るとともに、地元での採用の促進や、Uターン、Iターンなど移住促進の取組により、生産年齢人口の増加につながる総合的な施策を推進されたい。
- (2) 第一次産業の活性化のために、地産地消の一層の推進に努め、地元産の安全でおいしい農水産品の生産と消費の拡大につなげられたい。
- (3) 魅力ある地域資源を積極的に発信し、賑わいの創出などにより交流人口を増加させるとともに、定住人口の増加につながる施策を推進されたい。

## 6 自治体経営の柱

「市民力、行政力の向上のために」について

- (1) 市民が主役のまちづくりを推進するため、多様な主体が協働できる体制と仕組みを構築するとともに、地域づくりに取り組むことができる組織を住民と連携して構築されたい。
- (2) 多様な主体による協働の取組を推進するため、市職員自らが、市民との協働を進める上で必要な様々な能力の習得と感性の醸成に努めるとともに、地域づくりを理解し積極的に行動できる人材の育成に努められたい。
- (3) 男女共同参画社会の実現を牽引するため、行政のあらゆる分野への女性の登用を更に推進するとともに、仕事、家庭、地域などにおける男女共同参画の取組を推進されたい。
- (4) 文化的背景の異なる外国人市民など、多様な市民が、まちづくりに参加し、地域に貢献できる施策の推進に努められたい。
- (5) 計画の推進のため、適正な人員配置に努めるとともに、単位施策の成果指標の達成に寄与する効率的で効果的な行政経営システムの構築を進め、更なる行政力の強化を図られたい。

## 7 全体を通して

- (1) 計画の推進に当たっては、組織横断的な連携によって効果的に施策を推進するとともに、成果指標の目標達成水準を的確に把握し、基本構想の実現に向けた適切な進行管理を図られたい。
- (2) 市民ニーズの変化を的確に捉え、持続的で適切な行政サービスが提供できるよう、中長期的な展望を予測し、将来的なリスクを予防・抑制する観点から、スクラップ・アンド・ビルドによる取組の重点化、官民の役割分担の見直し、公共施設の適正配置など、将来予想される人口減少社会に適応できる施策を推進されたい。
- (3) 単位施策の成果指標及び目標数値の設定については、審議会での意見を参考に再度見直されたい。
- (4) 前期基本計画素案の文言、字句などの表現については、審議会での意見を参考にするとともに、市民にわかりやすい表現とされたい。

参考資料5

●鈴鹿市総合計画審議会委員名簿

(敬称略)

役職	名 前	団 体 名	団体役職等
会長	豊田 長康	鈴鹿医療科学大学	学長
副会長	高橋 亨	鈴鹿市自治会連合会	会長
委員	平井 憲章	鈴鹿国際交流協会	理事長
委員	土川 禮子	鈴鹿市男女共同参画審議会	前会長
委員	山川 武志	鈴鹿青年会議所	前理事長
委員	齋藤 千恵	鈴鹿市防災会議	委員
委員	佐藤 和	本田技研工業株式会社 安全運転普及本部 鈴鹿普及ブロック	主任
委員	松嶋 康博	鈴鹿市PTA連合会	会長
委員	林 佳代子	鈴鹿市青少年育成市民会議	監事
委員	達知 和子	鈴鹿市芸術文化協会	理事
委員	山崎 昭	鈴鹿市体育協会	専務理事
委員	樋口 径子	鈴鹿市社会福祉協議会	地域課長
委員	西城 英郎	鈴鹿市医師会	会長
委員	新田 保次	鈴鹿市都市計画審議会	会長
委員	石崎 喜隆	鈴鹿地区労働者福祉協議会	会長
委員	坂口 博文	鈴鹿商工会議所	副会頭
委員	岡本 隆	鈴鹿農業協同組合	常務理事
委員	矢田 和夫	鈴鹿市漁業協同組合	代表理事組合長
委員	植村 昌美	公募委員	
委員	須賀 亨	公募委員	

※第2回総合計画審議会までの副会長は、北川 正敏 自治会連合会会長（当時）

## 参考資料6

### ●「わたしたちが暮らす未来のすずか」作文・絵画

#### 「わたしたちが暮らす未来のすずか」作文・絵画

総合計画の策定に当たり、将来のまちづくりを担う小・中学生の皆さんに、「夢や希望を持ち、幸せだと感じて暮らしている未来の鈴鹿市」の様子を表現した作文や絵画を募集しました。

#### ■作文の部

小学生（高学年）及び中学生を対象に、「わたしが思う幸せなまち 未来のすずか」をテーマに作文を募集し、287作品の応募がありました。

#### 【市長賞】

大木中学校 2年 岸田 千夏  
「地元のものを大切にする鈴鹿」

※作文・絵画の受賞者の学年は、応募時点（2015年度）のものです。（敬称略）

私たちの住む鈴鹿は、お茶の栽培やのりの養殖がさかんです。しかし、私はあまり、お茶がどうやってできるのか、のりはどうやって成長するのか、よくわかりません。きっと多くの鈴鹿市民も知らないと思います。もっと食の事を理解して、地元でできた物を大切にしていって鈴鹿になってほしいです。

五月から学校給食が始まって、鈴鹿で作られた食材で給食を作っていたので、「鈴鹿で、こんな物もとれるんだ。」と、初めて知った食材もありました。給食を通じて、鈴鹿の食材を知って、より身近になりました。

地元のものを大切にすると、食べ物運ぶ距離と時間が減り、環境にも優しいと思います。もし、地元のものを地元の人がたくさん消費すると、鈴鹿の新しい名産品ができ、それによって、鈴鹿全体が活性化するかもしれません。

最近では、地産地消が広まり、地域で作られた食材を並べる、地産地消コーナーが増えてきました。また、飲食店でも、「鈴鹿産使用」と、書かれたメニューも出てきました。「地元で作られたものか。」と、思うと少し親しみを感じると思います。

お茶や、のりに限らず、鈴鹿にはまだまだたくさんの食材があります。日本は外国からの輸入に頼っている部分も多いけれど、スーパーで食材を買う時は、買える物は、地元の食材を買い、鈴鹿全体で地元のものを大切にして、市民全員で地域を活性化していってほしいです。

【最優秀賞】

旭が丘小学校 5年 森下 舞香

「もっと輝け、未来のすずか」

私は、自分が生まれ育った三重県鈴鹿市が大好きです。だから、10年後、20年後も、鈴鹿市が好きと思えるような町にしていきたいです。

はじめに、私が鈴鹿市の好きなのところは、鈴鹿墨や伊勢型紙といった素晴らしい伝統工芸を大切にし、授業でも取り入れているところです。

あと、鈴鹿には、世界にほこれる大企業ホンダや、鈴鹿サーキットがあります。日常生活では、イオンを中心にショッピングセンターが充実していて、不便を感じた事はありません。総合病院が市内に2つもあるのは、本当に安心でいいなあと思います。

また、給食センターが完成したことは、今は共働きの家が多いので、とても有意義なことだと思います。

そして、鈴鹿には山も海もあります。

私は未来の鈴鹿も、平和で安全な町になっていたらいいなと願っています。交通事故・事件などのない市民が幸せな町であってほしいです。

そして、社会問題にもなっていますが、これから鈴鹿市も、高齢者が増えていくと思います。この人達が安心して生活出来るようにしたいです。例えば、高齢者が無料で利用できる温泉や、談話コーナーなどがあれば、一人ぐらしでも楽しいと思います。高齢者が多くなるので、病院や、ディサービスに特に力を入れればいいと思います。

今は、私の両親世代の人が、未来の鈴鹿のためにがんばってくれています。

私達が大人になったら、この人達の思いを受けついで、次世代の鈴鹿に住む人たちのために、幸せな鈴鹿市をつくっていきたいです。

未来の鈴鹿市が、子供が夢を持って、大人も笑顔でくらせる、世界に羽ばたく街でありますように。

【最優秀賞】

白鳥中学校 2年 谷岡 陸斗

「わたしが思う幸せなまち 未来の鈴鹿」

僕は生まれ育った鈴鹿市が大好きです。美しい山、豊かな海など自然にも恵まれ、僕が暮らす町もそうですが、優しい人達がとても多く感じます。そんな大好きな鈴鹿市を、大人になってもずっと誇りに思えるように願っています。

では、他県や他市から見た鈴鹿市とは一体どんなイメージなんだろう。自分が誇れる出身地とは、どう写っているんだろう。

まずもちろん、鈴鹿市のイメージと言えば「鈴鹿サーキット」。遊園地やプール、何より世界中から人が集まるモータースポーツ。恐らく外から見た鈴鹿のイメージのほとんどはそれだけで終わってしまっていると感じます。もちろん僕も鈴鹿市のモータースポーツの盛り上がり方は誇りであり、自慢できるものです。

でもそれだけでいいのでしょうか。僕は生まれ育った鈴鹿市の素晴らしい所や暮らし、伝統を沢山知っています。綺麗な川や山、魚も沢山いる海、伝統的に受け継がれて来た「かんこ踊り」なども参加した時にとっても感動しました。

そんな鈴鹿市の沢山の魅力を他の地域に暮らす人達にもっと伝えていきたいです。モータースポーツ以外にも鈴鹿市には他域に誇れる事は沢山あると思うのです。

将来僕が大人になった時、様々な活動を通して、その魅力を発信していけるような大人になりたいと思っています。

でも、今の僕にできる事は限られています。その中でもできる事。同じ地域に暮らす同世代の子や年下の子、また小さな子ども達。

そんな皆に「鈴鹿市って楽しい町だな」って、そう感じてもらえる為に僕なりのやり方で後輩たちに伝えていきたいと思います。

大好きな鈴鹿市をこの先もずっと大好きでいたいから。

#### 【優秀賞】

旭が丘小学校 5年 富士田 淳之介  
「笑顔と夢があふれる町すずか」

ぼくは、すずかに来た人に、「すずかは楽しくていい所だな。」と思ってもらえるようにしたいです。にぎやかで活気のいい町だったら、自然と笑顔になります。だから、ぼくはすずかをにぎやかで活気のいい町にしたいと思います。そのためにはまず、すずかに住むみんなが夢をもち、笑顔になることが大切だと思います。

そこで、ぼくはさまざまな所でスポーツや音楽、遊びなどのイベントを開くことをていあんします。そうすれば、みんなが楽しめて笑顔がふえると思います。もしかすると、楽しんでいるうちに夢ができるかもしれません。

なぜ、夢を持つことが大切なのかというと、ある夢に向かって努力をしていけば、いやな事にも負けないし、笑顔になれると思うからです。

最近、はんざいがふえてきています。はんざいが多い町だと、笑顔では、くらしにくいです。はんざいをした人は、何か夢はなかったのでしょうか。もし、夢があるのなら、その夢に向かって努力しているだろうし、その夢に集中していたら、はんざいなどは頭にうかばないと思います。

だから、ぼくは夢が大切だと思います。そのためには、だれもが夢を持てる町にしていくことが大切だと思います。たしかに、思うような事が出来なくてなげだしたくなる時もあります。その時は、ムスツとしてて、笑顔は生まれません。しかし、自分を信じて努力することが大切です。なぜなら、夢を追いかけて努力をしていれば、いつかはできるようになり、笑顔になれるからです。

だから、ぼくは「すすかは楽しい所だな。」と思ってもらえるために、すすかに住んでいるぼくたちが、夢を持ち、笑顔でくらせる町にしていくことが大切だと思います。

#### 【優秀賞】

井田川小学校 5年 中村 妃那

「18才の私が住む鈴鹿市」

8年後私は18才になります。その時、鈴鹿市は、今と同じように住みやすいまちであってほしいと思います。

私の住む井田川は、鈴鹿川と安楽川という2つの大きな川がながれています。とても自然が身近にあって、教科書に書いてあるように鳥や魚たちが、いっぱいいて、本当にゆったりとしたまちです。

お父さんに聞くと、お父さんが子どものころのような感じがまだたくさん残っていると言います。家のまわりに、こんな豊かな自然が残っている、そんな鈴鹿市がいいので、私が大人になっても変わらないまちであってほしいと思います。

また、近所には友達がいて、知り合いのおじさんや、おじいさんたちが、私をととても大事にしてくれます。そんな安心なまちですとあってほしいです。

買い物や遊び場所に困らないのも鈴鹿市のみりよくです。近くには、ショッピングセンターもあるし、鈴鹿サーキットはF1でも有名だし、じまんでできるものがたくさんある鈴鹿市ですとあってほしいです。

とても住みよい鈴鹿市ですが、ちょっと心配なこともあります。私の小学校は、生徒数が少ないので、これからも、もっとたくさんの友達が集まって、にぎやかな学校になるともっと良いかなと思います。

8年たったら、私も今よりも大きくなって何か出来るようになっているかも

しれません。その時、今と同じように、みんなが安心して楽しくらせる鈴鹿市にしていけたら良いなと思います。

私が考える未来の鈴鹿市は、8年後も、今と変わらない、自然が豊かで、安心で、じまんができる所がたくさんある、そんな住みやすい鈴鹿市です。

【優秀賞】

大木中学校 2年 倉田 滉大

「小さなことから」

僕は、今住んでいるこの町、「鈴鹿」が大人になった時に誇れる町になってほしいです。だから、次のことについて力を入れるといいと思います。

それは、「農業」です。鈴鹿の町は、山と海に囲まれていてとても豊かな土地です。僕は、この豊かな土地を畑や田などに利用すればいいのではないかと思います。

しかし日本では農家が減少しています。日本産のお米や野菜が無くなってしまいかもかもしれません。

だから、現農家の方々にお手伝いをお願いし、参加者が野菜作りを体験したり、「農業」についての講習会を開くなどをして「農業」に対する関心を持つ人がたくさん増えるといいと思います。その参加者の中に「野菜作り、楽しかったなー」と思ってくれる人や、農家をはじめの人がいるかもしれません。もし農家にならなくても、家庭菜園を始める人が増えるかもしれません。これらのことは、山と海に囲まれた町、鈴鹿に適した取り組みだと思います。

「農業」といえば鈴鹿と日本中から言ってもらえるようにしたいです。小さなことから始めて住む人、全員が「農業」に関心を持つ。そして、町に農家がたくさんいる。このいい影響が、三重県中、日本中、世界中に広まっていくといいなと思いました。そして僕たちが大人になったときに、誇れる町になってほしいです。

【優秀賞】

大木中学校 2年 河中 美怜

「私の大好きな街・鈴鹿」

私の父は「鈴鹿が大好きだ。モータースポーツの聖地スズカに住めるのは誇らしい。」と言います。私はそんな父の付き添いでプロドライバーの助手席に乗せ

てもらい鈴鹿サーキットを一周同乗させて頂いた事があります。とても刺激的な体験でした。確かに鈴鹿サーキットがあるという事はすごいことかも知れませんが、私は生まれた時から鈴鹿サーキットがあり、それが当たり前のように感じていたので、今いちわかりませんでした。「F1」や「8耐」などの有名なレースがある時は、世界中からたくさんの方が訪れる街は日本中どこを探しても、鈴鹿くらいかも知れません。

鈴鹿はモータースポーツだけではなく、スポーツにも力を入れている街だと思います。スポーツの杜・鈴鹿（鈴鹿スポーツガーデン）があり、石垣池公園にも立派な陸上競技場や野球場があります。そして、プールもあります。白子には武道館があり、体育館やテニスコートもたくさんあります。

私は、卓球をやっているので体育館が新しくなれば良いのになと、少し思ってしまうのですが、スポーツにとっても力を入れている街だと思っています。

2020年には東京オリンピックが開催されます。海外の方達もたくさんいらっしゃると思います。海外の方達に東京だけでなくモータースポーツを体験して頂き、スポーツの街、鈴鹿を感じてもらいたいと思います。

「さあ、きっともっと鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり。」自然豊かで、人もとても温かい。世界中の人たちが楽しめて、笑顔や希望が溢れる素敵な鈴鹿になればいいなと思います。

そんな鈴鹿が私は大好きです。

#### 【努力賞】

旭が丘小学校 5年 江藤 大晟

「きれいでやさしいすずか市」

玉垣小学校 5年 杉山 華蓮

「私の未来のすずか」

玉垣小学校 6年 吉川 湧仁

「未来の幸せな鈴鹿」

白鳥中学校 2年 鮫島 奈央実

「私たちが暮らす未来のすずか」

白鳥中学校 2年 中井 健太

「私たちが暮らす未来の鈴鹿」

白鳥中学校 2年 加藤 紘康

「活気あふれる治安のいい町鈴鹿」

## ■ 絵画の部

小学生（低学年・高学年）及び中学生を対象に、「幸せいっぱい未来のすずか」をテーマに絵画を募集し、67作品の応募がありました。

### 【市長賞】

白子中学校 2年 上村 麗

「私たちが暮らす未来の鈴鹿」（第1部基本構想 第1章に掲載）

### 【最優秀賞】

河曲小学校 2年 松尾 紅亜

「幸せいっぱい未来のすずか」（第1部 基本構想 第2章に掲載）

玉垣小学校 6年 熊谷 天翔

「幸せあふれる未来の鈴鹿」（第1部 基本構想 第3章に掲載）

神戸中学校 2年 清原 麻耶

「みんなの笑顔が咲くまち」（第1部 基本構想 第4章に掲載）

### 【優秀賞】

石薬師小学校 1年 伊藤 小陽

「にこにこの鈴鹿」（第2部 前期基本計画 第1章に掲載）

稲生小学校 3年 田中 創大

「平和なすずか」（第2部 前期基本計画 第6章に掲載）

稲生小学校 4年 赤坂 夏波

「笑顔あふれる鈴鹿」（第2部 前期基本計画 第5章に掲載）

玉垣小学校 5年 岩本 一万里

「みんなの幸せ」（第2部 前期基本計画 第2章に掲載）

平田野中学校 1年 市川 優美

「えがおの町を作ろう！」（第2部 前期基本計画 第3章に掲載）

平田野中学校 2年 佐藤 知奈

「すずかの未来を美しく」（第2部 前期基本計画 第4章に掲載）

【努力賞】

玉垣小学校 1年 村田 結希乃

「みんななかよくくらそう」

河曲小学校 1年 柏木 晴太

「わたしたちが暮らす未来のすずか」

旭が丘小学校 2年 万谷 和美

「はる・なつ・あき・ふゆ 自由な学校」

河曲小学校 4年 鈴木 優一朗

「えがおの町すずか」

栄小学校 6年 日置 真緒

「いまのママがすき」

箕田小学校 6年 奥田 帆香

「海がきれいなすずか」

白子中学校 1年 井上 瑠海

「私たちが暮らす未来の鈴鹿」

白子中学校 1年 楠木 温人

「私たちが暮らす未来の鈴鹿」

神戸中学校 3年 伊藤 楓

「WE ARE MAKING SUZUKA」